授業科目名・形態	研究方法論Ⅱ　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	黒澤　繭子　　他	実務経験の有無	有	開講期	3年後期
科目ナンバリング	N7-3015npmht				

【授業の主題】

「研究方法論Ⅰ」で学んだ知識を踏まえ、研究における倫理的配慮、研究課題の発見の仕方、文献検索、研究計画の立て方、倫理審査申請書の作成等の一連の研究過程を担当教員の指導のもとで学生が主体的に実践する。なお、この研究過程は4年次の「看護研究」へと継続される。

【到達目標】

研究における倫理的配慮、研究課題の発見の仕方、文献検索、研究計画の立て方、倫理審査申請書の作成等の一連の研究過程を行うことができる。

【授業計画・内容】

学生は希望する看護専門分野に分かれ、担当教員の指導のもとに個人またはグループ研究を行う。

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。個人またはグループで研究課題を見出し、研究計画書等を作成するので、主体的に授業に参加すること。

【事前・事後学習】

・担当教員からの指導を受け、次回授業まで必要な準備や作業を主体的、積極的に進めること。
・講義内容を踏まえ、研究計画書作成等を含めトータル60時間程度の自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】

研究方法論Ⅰ、統計学、保健統計学（選択）、看護研究、臨地実習

【教科書等】

「研究方法論Ⅰ」と同じ

【参考文献】

「研究方法論Ⅰ」と同じ

【成績評価方法】

研究の実施状況50%、授業への取り組み姿勢・提出物等50%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

公立病院で看護職（看護師）として患者やその家族への対応等の実務経験あり。
実務経験から得た看護実践に関する知識や技術と深く関わりを持った研究ができるように授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

- 「研究方法論Ⅰ」の授業やレポート作成等で学んだ研究に関する基礎知識を活用しながら研究計画書や倫理審査申請書を作成し、4年次の「看護研究」でその成果を大いに発揮してください。
- 担当教員とは、今までにない深い人間的な関係を築くことができます。